

2022年9月20日

公益財団法人 日本セーリング連盟  
公益財団法人 広島県セーリング連盟

## 2022 ハンザクラスワールド広島大会、開催まであと1カ月 選手が参加する「SDGs レース」が本日スタート



広島観音マリーナ（広島県広島市西区観音新町）を拠点に10月20～23日の4日間行われる「2022 ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ」および「パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島」開催まであと1カ月となりました。

今大会はコロナ禍以降、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をのぞき、国内で初めて開催されるセーリング競技の国際大会で、日本を含め世界11カ国から122人がエントリーしています（9月20日現在）。

「2022 ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ」は、障がい者と健常者がハンディキャップなしにレースを行うインクルーシブな大会であり、「パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島」は国際基準のパラセーリング規則に則った有効なクラス分け証明を持つパラアスリートが順位を競います。

また今大会では、ヨットレースだけでなくSDGs #14「海の豊かさを守ろう」をテーマに、環境保全に寄与する評価項目を定めて貢献度を競う「SDGs レース」も同時に行います。選手は大会1カ月前の9月20日から、専用ウェブアプリを使って「SDGs レース」に参加することが義務づけられており、大会最終日にはヨットレースの結果だけでなく、環境保全に最も寄与したセーラーも表彰される予定です。

### 【SDGs レースとは】

SDGsに関する一層の意識付けを狙い、環境保全への貢献度を競うレースです。SDGsレースのスタートは9月20日。日本セーリング連盟が開発した専用のウェブアプリを使って15の評価項目を日々加算しポイントを積み上げ、上位3名が大会最終日に表彰されます。評価項目は次のとおり。専用アプリが使われるのはこの大会が初めてです。選手以外は表彰対象外ですが、大会スタッフも同様の取り組みにチャレンジし、海の豊かさを守る取り組みに貢献していきます。

### 評価項目一覧

	<<大会前からできる活動とポイント>>	点数
1	レジ袋を使わなかった	1
2*	ペットボトルを使わなかった	1
3	ゴミを分別した	1
4	フードロスを出さなかった	1
5	節水した	1
6	化学洗剤を下水に流さなかった	1
7	省エネに貢献した	1
8	ゴミの量を最小限にした	1
9	最小限のプリントアウト	1
10	プラスチック容器の食品を買わなかった	1
★	ツイートしたら追加で2ポイント	2
	<<大会会場で得られるポイント>>	
11*	会場で環境について話した	2
12	ボランティアと交流した	2
13*	帆のリサイクルバッグを作った	5
14*	検査用海水を採取した	5
15*	砂浜のプラパイプを回収した	5



↑リサイクルセールのワークショップ

↓ビーチクリーンで見つかるカキ養殖で使うプラパイプ



- \*2: 大会会場には給水スポットを設置しマイボトルの使用を推奨。参加賞としてアルミボトルを配布
- \*11: 実行委員会環境部が会場内に SDGsブースを設置。パネル等を展示し環境保全をアピール
- \*13: 古くなったセールクロスからバッグを作るワークショップを大会期間中に実施
- \*14: 近畿大学工学部生物化学工学科研究チームの協力を得て、レース海面で採取した海水にマイクロプラスチックなどがどの程度含まれているか観察
- \*15: 広島特産のカキの養殖いだから台風時などに流出するプラスチックパイプを回収。漁業者に返却しリユースを促進

**【大会概要】**

大会名称	2022 ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ & パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島 (通称:2022 ハンザクラスワールド)
開催期間	2022 年 10 月 20 日(木)～10 月 23 日(日)
大会会場	広島観音マリーナ(レース海面 広島観音マリーナ沖) 広島県広島市西区観音新町 4-14-6
共同主催	ワールドセーリング、(公財)日本セーリング連盟 国際ハンザクラス協会、日本ハンザクラス協会
大会運営	2022 ハンザクラスワールド実行委員会、(公財)広島県セーリング連盟
特別協力	広島県
後援	(公財)日本パラスポーツ協会、広島市、広島市教育委員会、(公財)広島県パラスポーツ協会、(公財)広島県スポーツ協会、広島市障害者スポーツ協会、広島商工会議所、中国新聞社、NHK 広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島
参加(予定)	選手:11 カ国・122 人 ボランティア:約 200 人
競技種目	ハンザクラス ①2.3 シングル ②303 シングル ③303 ダブル ④リバティ
大会日程	10 月 20 日(木) プラクティスレース・開会式・レセプション 10 月 21 日(金) ～23 日(日) レース(各クラス最大 8 レース実施予定) 10 月 23 日(日) 表彰式

**【表彰クラス】**
**アジアパシフィックチャンピオンシップ(オープン参加のインクルーシブレース)**

- ・ハンザ 2.3 シングル(一人乗り)
- ・ハンザ 2.3 シングルサーボ \*サーボとは操船を補助する電動サポート器具を装着した艇
- ・ハンザ 303 シングル
- ・ハンザ 303 ダブル(二人乗り)
- ・リバティ \*リバティは 303 をベースに障がいが高くても一人で操船できるよう安定性を高めた艇
- ・リバティサーボ

**パラセーリングチャンピオンシップ(国際基準のクラス分け証明を持つパラセーラー対象レース)**

- ・ハンザ 303 シングル男子
- ・ハンザ 303 シングル女子
- ・リバティ

### 【パラセーリング普及プログラム・PDP(Para Sailing Development Program)を広島で実施】

大会に先立つ 10 月 17 日～19 日の 3 日間、広島観音マリナーでパラセーリング普及プログラムが実施されます。ワールドセーリングの指導員からパラセーリングの裾野を広げるためのノウハウや、パラセーラーへの指導方法を習得するプログラムで、日本を含む 5 カ国から計 17 人のコーチとパラセーラーが参加する予定です。

### 【ハンザクラスとは】

ハンザクラスは障がいの有無や程度、性別や年齢にかかわらず、誰もが一緒に楽しめる小型ヨットで、世界 27 カ国に約 3000 艇、日本には約 300 艇が普及しています。重度の障がい者、例えば四肢麻痺の選手でも電動サポート器具(サーボ)を取り付けることで操船が可能になり、健常者と五角の戦いをすることができます。健常者と障がい者がともに競い合うパラスポーツはほかに例がなく、インクルーシブ社会が進展する中で改めて注目を集めています。



1 枚帆のハンザ 2.3



2 枚帆のハンザ 303 ダブル



補助器具を装着したリバティーサーボ

### 【広島とハンザクラス】

広島ではハンザクラスが日本に紹介された当初から 20 年余りにわたり、障がい者や初心者を対象としたセーリング普及活動を活発に行ってきました。2018 年には 24 カ国・地域から 191 人の選手が参加した「ハンザクラスインターナショナルチャンピオンシップ」を開催した実績があります。

### 【パラリンピックにおけるセーリング競技】

1996 年のアトランタ大会でデモンストレーション種目として採用され、2000 年のシドニー大会から公式種目に採用されました。以後リオデジャネロ大会まで 5 大会連続で行われましたが、東京 2020 大会では実施されず、パリ 2024 大会でも実施されないことが決まっています。現在、ワールドセーリングを中心にロサンゼルス 2028 大会での復活を目指しキャンペーンを行っています。

### 【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

2022 ハンザクラスワールド広島実行委員会  
公式サイト: [www.hansaclass-hiroshima.com](http://www.hansaclass-hiroshima.com)  
(岸田首相からのビデオメッセージはこちらをご覧ください)  
メール: [media.hansahiroshima2022@jsaf.or.jp](mailto:media.hansahiroshima2022@jsaf.or.jp)  
電話: 伊藤通祐(株式会社みづま工房 082-236-8141) 西朝子(090-1042-9262)

### 【メディア登録】

本大会の取材をご希望のメディアは以下の申請フォームより登録をお願いします。  
メディア登録 ⇒ <https://forms.gle/cdfoxf7Bxcug2JtA9>